

○2番 遠藤優奈君

椿市小学校6年、遠藤優奈です。私は活気ある学校づくりについて質問します。

私の通う椿市小学校は、全校児童75名の小さな学校ですが、自然環境に恵まれた学校です。一方で、市内の小学校には子どもが多い小学校もあり、差があります。子どもの数を平均的な人数にすることで、今よりももっと活気ある学校になると思います。他の地域の子どもたちと、この環境に恵まれた椿市小学校で一緒に勉強ができたらいいと思うし、この学校のよさを感じてほしいです。そのためには、他の地域の子どもたちが安全に通学できることが大切なので、スクールバスでの送迎をお願いしたいです。

それでは、質問します。他の地域の子どもたちが、椿市小学校に通うための方法がありますか。

○議長 礒元樹恵琉君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

遠藤議員の質問に、お答えをいたします。

まず、遠藤議員が、椿市小学校のことをとても好きなんだな、ということが分かる質問だと思いました。

今御質問のありました、他の地域の子どもたちが椿市小学校に通うための方法ですが、現状でできる方法としては、遠藤議員も御存知のとおり、小学生や中学生が通うことができる学校は、住んでいる地域によって、通学する学校とその学校に通学できる地域が決まっています。これを指定学校と言っております。しかし、教育委員会が決められている条件に当てはまる場合については、指定学校を変更することができます。これを指定学校変更と言っているんですけれども、この指定学校変更の手続きを取ることができれば、他の地域の子どもたちも椿市小学校に通うことが可能ということになります。

以上です。

○議長 礒元樹恵琉君

遠藤議員。

○2番 遠藤優奈君

指定学校変更の方法を教えてください。

○議長 礒元樹恵琉君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

指定学校変更の方法について、説明いたします。

指定学校変更については、先ほどもお話いたしましたけれども、教育委員会が決めている条件に当てはまる場合に指定学校を変更することができる、という方法になります。どんなときに変更できるのかというと、例えば、保護者のお仕事の帰りがいつも遅くなるようなときに、放課後は、椿市小学校区に住んでいる祖父母の家に子どもを預ける場合などが考えられます。

また、この他の条件の一つに、特別に認められた学校、これは特認校という言い方をしているんですが、こちらに行きたいと希望した場合も指定学校を変更することができる、というルールもございます。現在では、認められた学校は蓑島小学校だけということになります。以上です。

○議長 礒元樹恵琉君
遠藤議員。

○2番 遠藤優奈君
椿市小学校が特認校になれますか。

○議長 礒元樹恵琉君
執行部に答弁を求めます。
教育長。

○教育長 長尾明美君
回答いたします。蓑島小学校の話在先ほどいたしました。こちらの学校では、現在、指定学校を変更して、蓑島地区以外のたくさんの子どもたちも通っていて、毎日、楽しく過ごしています。椿市小学校も蓑島小学校に負けなくらい自然に恵まれた、とても素敵な学校だと思っています。

現在、教育委員会においては、子どもたちが通う将来の学校が、活気があって、毎日通いたいと思ってもらえるように、学校のことについて、今慎重に話し合いを続けているところです。そういった中で椿市小学校を特認校にしていくのかどうかということについても、そういった話し合いの中で、しっかりと考えていきたいと思えます。

以上です。

○議長 礒元樹恵琉君
遠藤議員。

○2番 遠藤優奈君
スクールバスでの送迎は可能ですか。

○議長 礒元樹恵琉君
執行部に答弁を求めます。
教育長。

○教育長 長尾明美君

では、御質問にお答えいたします。スクールバスがあると、他の地域の子どもたちにとっても、保護者の方にとっても、安心して椿市小学校に通うことができると思っています。しかしながら、仮にいろいろな地域のほうから、たくさんの子どもたちが椿市小学校に通うためには、やはりスクールバスは何台いるのか、運転手が何人いるのかといったような、いろんなことを考えていかないとはいけませんので、慎重に考えていくことが大切だと思っています。

今回の遠藤議員の御質問では、他の地域の子どもたちが椿市小学校に通えると、もっと活気がある学校になるのではないか、という内容だったので、いくつか条件があることをお話いたしました。しかし、椿市小学校では、皆さんが今非常にタブレットを積極的に使ってくれていますので、このタブレットを使って、他の学校の子どもたちと離れていても交流というのができると思いますので、そういった機会も考えていけたらいいなというふうに考えています。以上です。

○議長 礒元樹恵琉君

遠藤議員。

○2番 遠藤優奈君

これで質問を終わります。ありがとうございました。